

ち が さ き し き ほん こう そう 茅ヶ崎市バリアフリー基本構想 がいようばん (やさしいばん)

資料 2
(議題)



“バリアフリー”のことばの意味

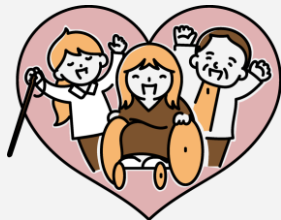
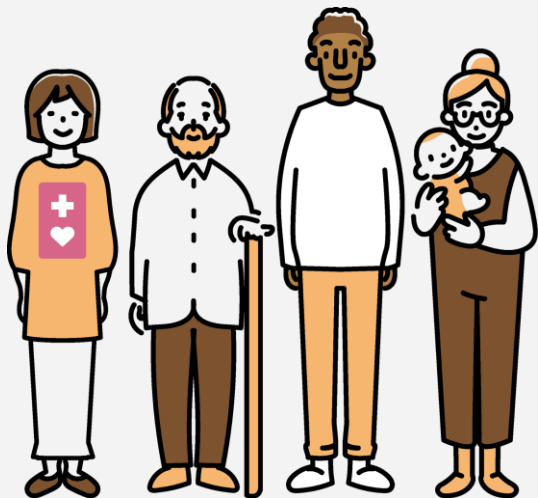
“バリア”は、体のふ自由な人やお年より等が生活するときに「さまたげになるものやこまりごと」です。“フリー”は、「取りのぞく、なくす」ことです。

この2つの言葉を組み合わせたのが“バリアフリー”です。

だれもがくらしやすい社会をつくることを目てきとして生まれた考え方です。



だれもが安心してすごせるまちをめざして！



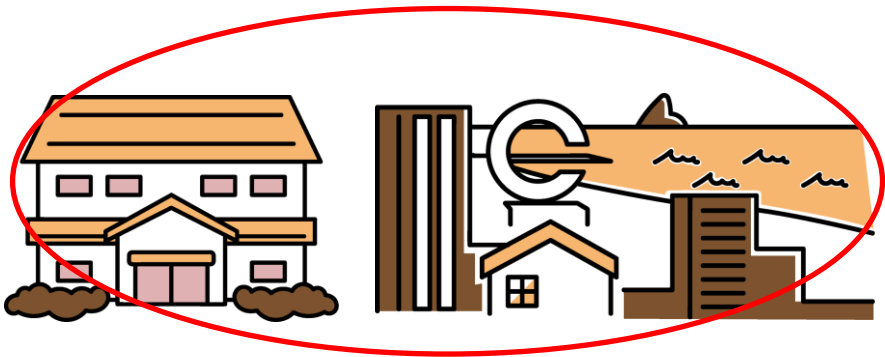
いろいろな人がすごせるように

市では、お年よりやしょうがいのある人、子どもづれ、外国人等いろいろな人がくらし、市をおとずれる人やはたらく人と多くの人がすごしています。

こまりごとをなくせるように

まちの中にある“さまたげることやこまりごと”になるものをなくすひつようがあります。

バリアフリーが進むと、まちや人がかわります。



安心する・くらしやすい・いどうできる



おたがいに助け合える・ゆずる

茅ヶ崎市で行っているバリアフリーの進め方

① 計画をつくり、取組を進める

こまっている人の意見を聞いたり、決まりごとを**かくにん**して、まちの中をバリアフリーにするために「茅ヶ崎市バリアフリー基本構想」という計画をつくり、取組を**進めていきます**。

(1) どんな人に



生活するときに「さまたげになるものやこまりごと（バリア）」を感じる人です。

(2) 取り組む期間



10年間です。
れい和5(2023)年度～14(2032)年度まで、
れい和14(2032)年度に計画を見直します。

(3) 取り組むはんい

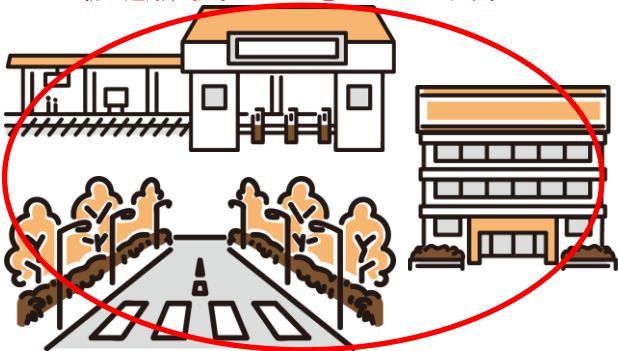


「市全部のはんい」です。
とくに「人や**たて**物等が多く集まる
ところ」や「他の計画と合わせて進
めるところ」は**はんい**を決めて進め
ます。

「ハードの取組」と「ソフトの取組」の2つの方法でバリアフリーの取組を進めています

ハードの取組

たて物や道路、駅等のしせつをかいぜんします。



ハードとは、たて物や道路、駅等のカタチのあるモノのことです。

ソフトの取組

声かけにより、こまりごとをなくします。

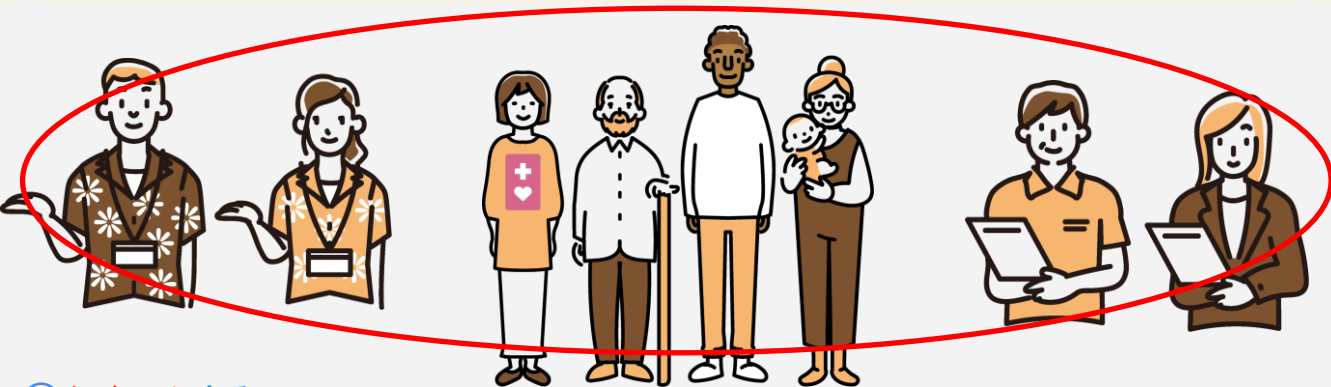


ソフトとは、ルールやかんきょうづくりのほか助け合いや心づかい（配りよ）等、カタチがないモノのことです。

② みんなできょう力して進める

安全で住みよい街、バリアフリーを目指すには、市だけでなく、しせつをつくる人・しせつをかん理する人、し民それぞれが行うことを決めてきょう力して進めます。

みんなのきょう力により、まちにあるバリアを取りのぞきます



③ かくにんする

計画どおり進んでいるか市みんといっしょにかくにんします。

茅ヶ崎市で行っているハードの取組

これまでの取組

建物

市役所のちゅう車場から出入り口までの間に屋根を付け、雨にぬれないようにしました。



道路（歩道）

駅のまわりの歩道に、点字ブロックをしいたりしました。

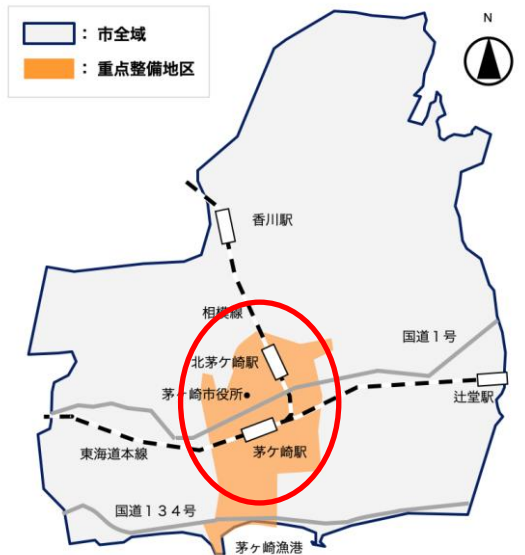


駅

茅ヶ崎駅のトイレに、だれもがわかりやすい案内をせっちしました。



これからの取組（その1（オレンジ色））



バリアフリー基本構想にくわしい計画ないようを書いています。

市全部の範囲

たて物や道路等がだれもが使いやすいようにバリアフリーを進めます。【46～58ページ】

たとえば、道路、あん内、しせつや小中学校等

人やたて物等が多く集まる場所

「重点整備地区（じゅうてんせいびちく）」と言います。
茅ヶ崎駅や北茅ヶ崎駅のまわりで、お店に行くまでのいどうやりようするときのバリアフリーを進めます。【59～160ページ】

例えば、公きょう交通（鉄道、バス、タクシー）、道路、信号機、公園、建物（市役所、大きなお店等）、ちゅう車場、海水よく場（サザンビーチ）

※ページ数は、バリアフリー基本構想の該当ページです。

これからの取組（その2（水色））

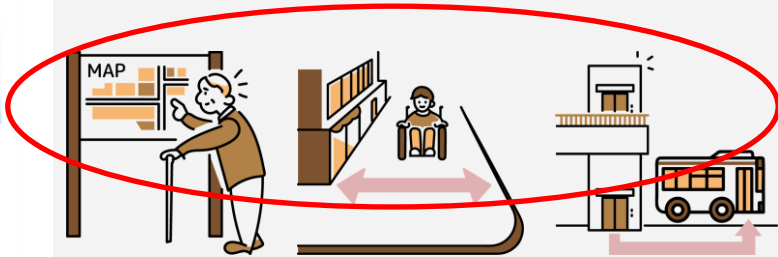


他の計画と合わせて進めるところ

「整備促進地区（せいびそくしんちく）」と言います。
香川駅や辻堂駅の周りでまちづくりの計画と合わせ、バスや電車への乗りかえがしやすくなるようバリアフリーを進めます。

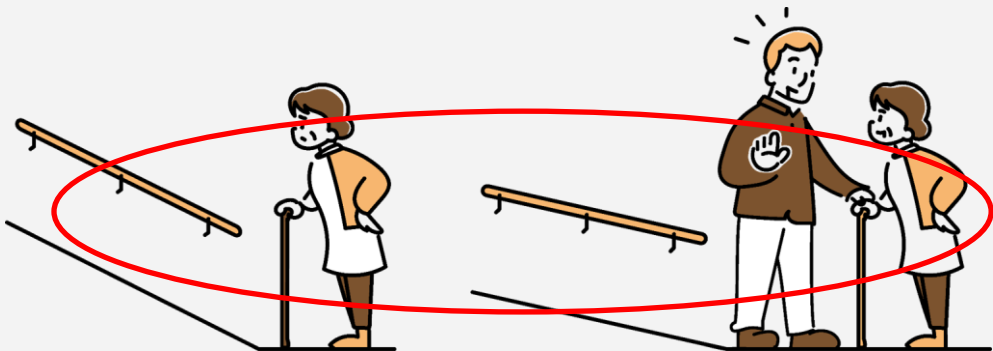
【161～163ページ】

※ページ数は、バリアフリー基本構想の*がい*当ページです。



茅ヶ崎市で行っているソフトの取組

バリアフリーを進めるには、ソフトの取組も大切です。まちなかにあるバリアに気づき、こまっている人がいたら「何かお手つだいできることはありますか。」と声をかけましょう。



心のバリアフリー

すべての人が、おたがいの理かいを深め、ささえ合い、助け合うことです。

4つのポイント



理かいる



マナー・ルールを守る

ゆう気を出して、声かけをしてみよう

“何かお手つだいすることはありますか”



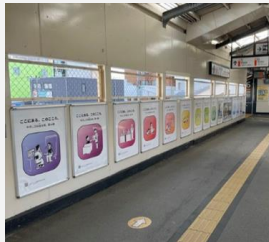
ゆずる



手つだう

具体てきな取組

手作りポスターをさくせい



まちなかにあるこまりごとを考え、手作りポスターをさくせいしました。

心のバリアフリー教室を行う



しょうがいのある人と会って自分ができていることを考える、心のバリアフリー教室を行いました。

みんなで声をかけ合い、安心してすごせるまちをつくろう



ここで調べてみよう！

「茅ヶ崎市バリアフリー基本構想（れい和5年8月かい定）」

茅ヶ崎市バリアフリー基本構想がいようばん（やさしいばん）
発行 茅ヶ崎市都市部都市政策課 令和6（2024）年3月作成